

# 緑のセンターだより

NO.103 平成19年10月1日発行

発行元：(財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## ミツバアケビ

アケビ科は世界に8属30種あり、東アジア(日本、朝鮮、中国)に6属、南アメリカのチリに2属が隔離分布しています。日本にはアケビ属3種とムベ属1種があり、アケビ属にはアケビ(*A. quinata* (Houtt.)Decne)、ゴヨウアケビ(*A. pentaphylla* Makino)と表記のミツバアケビが、ムベ属にはムベ(*Stauntonia hexaphylla* (Thunb.)Decne.)があります。

ミツバアケビは北海道の石狩以南に自生していますが、他の種はありません。アケビ類はツル性落葉木本で葉は掌状複葉、アケビ、ゴヨウアケビの小葉は5枚、ミツバアケビは3枚です。雌雄異花で雌花は花序の基部に1~3個つき雄花はその先端に多数つきます。ミツバアケビは家庭果樹として庭植えで楽しむことができますが、自家受粉では結実にくく、他品種株を側に植えると容易に結実します。庭では他の樹木に絡ませたり、生け垣にもできます。また、盆栽としても楽しむことができます。

ゴヨウアケビはアケビとミツバアケビの雑種で、アケビとともに本州～四国、九州に分布しています。果実は共に長橢円形で秋に熟すと紫色になります。アケビは6cm、ミツバアケビは10cm程です。

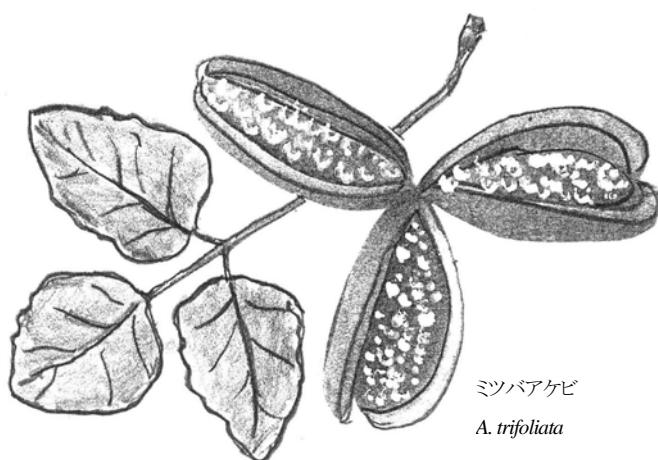
アケビの名は果実が熟すると裂けて白い果肉が現われることから「開け実」、「開け美」などからきたと言われていますが、日本各地で「アケブ」、「ヤマヒメ」などいろいろな呼び名で呼ばれています。

アケビ科 *Akebia trifoliata* (Thunb.)Koidz. (アケビ属)

これらの果実は液果(多汁果)で、熟した果汁の中に黒いたくさんの種がありますが、生食すると甘くてたいへん美味しい秋の味覚として楽しめています。熟した果実の皮(果皮)を唐揚げ、てんぷら、詰め物をした煮物、油いためなどの食材として高級料亭向けに出荷されるため、本州の果樹園ではアケビ栽培に切り替える農家が増えているといいます。新葉は地方によって「木の芽」と呼ばれ、おひたし、ごまあえ、味噌汁の具などとして利用されています。

茎(つる)は細工ものの材料として、皮をむきザルやカゴに編んで昔から利用されます。また、長野県の民芸玩具の「鳩車」はこれで作られています。気候(降雨量等)によりつるの性質が変わりますが、北海道産のアケビは乾燥せずに生で用いると扱いやすく、本州産のアケビは乾燥して使用するのに適します。豊平公園緑のセンターでも年に数回、アケビのつるを用いたかご作りの講習会を開催しています。薬用としては太い茎を「木通」(もくつう)とよび、輪切りにして乾燥し、煎じて利尿剤や頭痛薬として用いているようです。

アケビ科でアケビによく似たものにムベがあります。雌雄同株ですがアケビと異なり果実は熟しても裂開せず、常緑なのでトキワアケビとも呼ばれています。分布は日本では関東以南、沖縄、そして朝鮮半島南部の暖地に自生しています。幼苗の小葉は3~5枚で成木になると7枚の葉を生じるので七五三となって縁起の良いことから「長命樹」と呼ばれています。自家結実性がよく盆栽仕立てで楽しむことができます。果実は6cmほどの橢円形で種子はアケビよりも多いです。いずれも生食することができます。(T.I.)



# 10月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付	10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原	772-3511 木・日
☆平岡樹芸センター	883-2891 水・土

## ◆春植え球根の堀上げ、貯蔵

ダリア、グラジオラス、カンナなど地植えのまま越冬できない球根類はこの時期に掘り上げて冬期間保存します。越冬保存の方法は種類によって異なります。

### ダリア

霜で葉が傷んだら掘り上げます。霜の朝は晴天になることが多く掘り上げに最適です。出来るだけ大きく掘り上げ午前中天日に晒すと球根の土が落としやすくなります。その場で球根を小分けすると芽を傷めたり失いかねません。茎の切り口から株を縦に大きく2つ位に割り、ダンボール箱などに少し湿ったオガクズやピートモスなどを入れ球根を詰め保存して越冬させます。保存温度は5～7℃とし、1ヶ月くらい経過したら詰め込み材料の乾燥具合を確かめておきましょう。

### カンナ

降霜前に地上部の茎葉を地際で刈り取り大きめに掘り上げます。根茎を傷めないように大まかに土を落とし、そのまま鉢やダンボール箱などに詰めてダリアと同様に湿潤保存します。保存する適温は8～10℃です。保存前に株を分けたり土を落としてしまうと冬の間に根茎が枯れことがあります。保存中の根茎は途中で乾燥状態を確かめましょう。

### グラジオラス

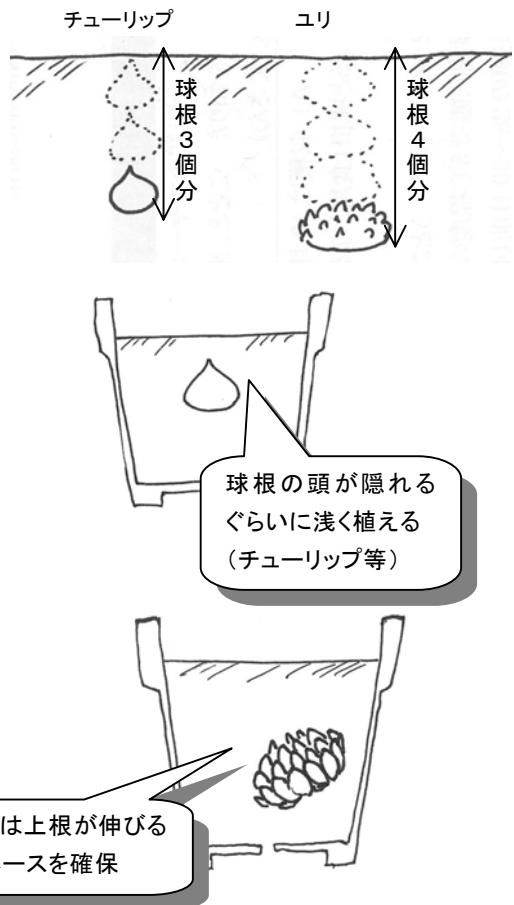
葉が1/3ほど黄ばんだら茎を付けたまま掘り上げます。茎を紐などで縛って風通しの良い物置などに吊り下げておきます。2週間くらいでカラカラになったら、茎から球根をもぎ取り枯れた根や親球を外し紙袋などに入れて室内で乾燥保存します。

## ◆秋植え球根の植え付け

チューリップやユリ、スイセン、クロッカス、ムスカリ、ヒヤシンスなどの秋植え球根は植え込みの時期です。

庭植えのチューリップやスイセンは花後、葉の枯れ込みを見て(6月下旬～7月)掘り上げ、陰干しするなど調整して保存しておいたものをこの時期植え込みます。ユリ類は掘り上げ後乾燥しないうちに植え込みますので、植え付け直前に掘り上げるようにします。

- ・植え込み用地は必要に応じてあらかじめ堆肥、石灰、よう燐などをすき込んでおきます。元肥を球根の下に施すのは禁物で、秋の施肥は無用です。
- ・植え込みの深さは球高の2～3倍くらいで、植幅も約3倍くらいとなります。ユリ類は上根で育ちますから4倍位の深さが望ましいと言われます。
- ・購入球根を植え付ける場合も同様ですが、チューリップなどはプランターや鉢などに植え付ける場合は、球根が隠れる程度の深さで植えますが、ユリは深めに植えるか球根を斜めに傾けて植えるのも良いでしょう。



## ◆咲かせよう！短日処理で

植物が美しい花を咲かせるには、茎葉が成長し(栄養成長)、花芽を作るホルモンが出来、花芽を形成して(生殖成長)開花というプロセスをたどります。この花芽形成を左右する環境条件には、日長、温度、栄養などがあります。「花が咲かない」現象は、これらの環境条件が整っていない場合に起こります。

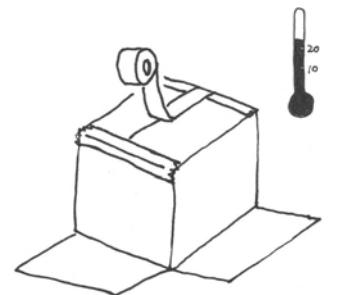
◎短日植物～日の出から日没までが短くなると花芽を形成する植物を「短日植物」と言い、これらの植物は日が短くなる晩夏から秋にかけて花芽を形成します。代表的な短日植物はキクです。

◎短日処理～入室した「短日植物」は、照明のある部屋で管理すると花芽が形成されず開花しません(もしくは開花が遅れます)。そこで人為的に明るい時間を短縮する「短日処理」をして花芽形成をさせます。一般的には、夕方の5時から翌朝の8時までダンボール箱などで覆い、明るい時間を9時間以下に制限します。

ポインセチア、シャコバサボテン、カランコエの短日処理法は次の通りです。

### ●ポインセチア

処理日数=60日前後。かなり弱い光にも敏感なので、ダンボール箱にはガムテープなどで目張りします。ポインセチアは折れやすいので大きめの箱を使いましょう。処理中の温度が15°C以下では花芽を形成しません。20°C以上が効果的です。きちんと花芽ができると苞が色づいてきます。



### ●シャコバサボテン

処理日数=25～30日。春から夏にかけて生長した茎節がしっかり充実していることが花芽形成の前提条件となります。処理後花芽が見えてきたら照明のある部屋においても大丈夫ですが、急激な温度変化は蕾を落とす原因となりますので気をつけてください。

### ●カランコエ

処理日数=40日前後。その後は照明のある部屋においても開花します。夜間温度15°C以下では花芽形成、開花が遅れます。

管理種類	処理開始からの開花日数	処理中の生育温度	処理法など			
			9月	10月	11月	12月
ポインセチア	80～90日	20～25°C	居間等に	短日処理	→	開花
シャコバサボテン	50～60日	10～15°C	居間等に		短日処理	→
カランコエ	60～70日	15～20°C	居間等に	短日処理	→	開花

## ◆Q&A

Q

今年初めてヤーコンの苗を購入し栽培してみました。現在は順調に生育しているように見えますが、収穫の時期を知りたいことと、来年は自分で苗を作って栽培してみたいのですがどのようにしたらよいか教えて下さい。(西区Kさん)

A

A1: 収穫は10月中～下旬で霜に1～2度当たった状態の時が良いでしょう。掘り取りは丁寧に行います。衝撃を与えると塊根(食用となる部分)に亀裂が生じます。2時間程度掘り起こしたままにしてから、塊根を外した方が良いようです。



塊根を取り除いた株



分割した塊茎

A2: 来年の種になるところは、塊根を外した上の部分でごつごつしたコブ状のものです(塊茎と言う)。これを茎につけたまま、湿潤状態で5°C程度の冷暗所に保管します(オガクズやピートモスをしつり湿らせた状態で覆う)。

来春定植の28～30日前(4月30日前後)に取り出し、コブ状の塊茎を1～2芽付け5～10gの大きさに分割し3.5号程度のポリポットに植え育苗します。

# 10月～11月上旬の催しのお知らせ

**豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568**

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
<b>園芸教室</b>				
セントポーリアの育て方	10/20(土)	13:30～	10/11(木)	無料
冬囲いの仕方	10/28(日)	〃	〃	〃
<b>展示会</b>				
ダイモンジンウ展	10/2(火)～8(月)			
秋の小品盆栽展	10/6(土)～8(月)		札幌小品盆栽会	
秋の盆草展	10/12(金)～14(日)		札幌草樹会	
セントポーリア展	10/16(火)～21(日)		北海道セントポーリア愛好会	
菊花展	10/27(土)～11/4(日)		札幌菊花同好会	
洋ラン展	11/13(火)～18(日)		北海道蘭友会	
<b>クラフト講習会</b>				
アレンジ押し花講習会「額」	10/18(木)	10:00～	10/11(木)	3,000円

**百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511**

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
秋の庭仕事見学会	10/20(土)	10:00～	10/11(木)	200円
球根を使ったバスケット・寄せ植え	10/12(金) 10/13(土)	10:00～ 10:00～、13:30～	〃	500円+教材費
バラの冬囲い	10/14(日)	13:30～	〃	200円
冬囲いの仕方	11/3(土)	13:30～	〃	〃
クリスマスとお正月の寄せ植え	11/9(金)	10:00～	〃	500円+教材費
<b>展示会</b>				
盆栽展・オモト展	10/5(金)～8(月)		料金	入館料 130円

**平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891**

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
果樹の整枝剪定	10/14(日)	10:00～	9/11(火)	無料
樹木の冬囲い	10/21(日)	〃	10/11(木)	〃
フジ・ブドウの剪定	10/28(日)	10:00～ 13:30～	〃	〃
アレンジ押し花講習会 木の葉のアクセサリー	10/12(金)	10:00～	9/11(火)	1,500円
〃 ご祝儀袋	10/19(金)	〃	10/11(木)	1,500円

## その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
道民の森オリジナルリース作り	10/6(土)～7(日)	当別町道民の森	管理事務所 0133-22-3911
支笏湖紅葉まつり	10/7(日)	支笏湖温泉	支笏湖まつり実行委員会 0123-23-8288
サーモン・ウォッキング	10/7(日)、10/21(日)	豊平川、星置川	豊平川さけ科学館 582-7555
平岡公園 秋の紅葉ツアー	10/27(土)	平岡公園	管理事務所 881-7924
チューリップを植えよう	10/13(土)、14(日)	滝野すずらん丘陵公園	公園事務所 592-3333
琴似発寒川サケ観察会	10/14(日)、28(日)、11/4(日)	琴似発寒川	豊平川さけ科学館 582-7555
平岡公園 野鳥観察ツアー	11/3(土)	平岡公園	管理事務所 881-7924

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>